

災 害 救 護 速 報

平成 26 年 9 月 28 日（日）18：00 現在
事業局 救護・福祉部 救護課
(Tel. 03-3437-7084)

御嶽山噴火災害に係る日本赤十字社の対応について（2）

1 火山活動の状況（気象庁発表：9月27日）

- ・御嶽山（長野県・岐阜県境）では、27日11時53分に噴火が発生。山頂付近の状況は視界不良のため不明であるが、南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えるのを観測。気象庁は27日12時36分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引き上げ。また、同13時35分に降灰予報を発表。
- ・山頂火口から4キロメートル程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石の飛散等に警戒が必要。

2 被害の状況（消防庁調べ：9月28日12:00現在）

都道府県名	人的被害（名）				住家被害（棟）				
	死者	行方不明	重傷者 （中等症 者含む）	軽症者	全壊	半壊	一部 損壊	床上 浸水	床下 浸水
長野県		32	10	20	確認中				
岐阜県			2	5					
合 計		32	12	25					

3 災害救助法の適用（内閣府：9月27日現在）

現在以下の地域において、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受ける恐れがあることから、災害救助法が適用されています。

- ・長野県木曽郡木曽町、木曽郡王滝村（平成26年9月27日適用）

4 日本赤十字社の対応

9月28日12時00分現在で、日本赤十字社各都道府県支部・施設における被害は確認されていません。

（1）長野県支部

9月27日

13：58 支部へ職員8人参集。

- 15 : 10 長野県支部災害対策本部を設置。
- 16 : 57 長野県支部救護班（長野赤十字病院（日赤DMAT））1 班が信州大学医学部付属病院へ向けて出発。
- 17 : 10 長野県支部救護班（諏訪赤十字病院（日赤DMAT））1 班が県立木曽病院へ向けて出発。
- 18 : 07 王滝村公民館へ毛布 80 枚、安眠セット 15 セットを搬送。
木曽町三岳交流促進センターへ毛布 300 枚、安眠セット 20 セットを搬送。
- 18 : 45 長野赤十字病院の医師 1 名が災害医療コーディネーターとして、また同院医師 1 名及び看護師 2 名が同コーディネーターの補佐として、長野県災害医療本部にて活動を開始。
- 18 : 52 御嶽ロープウェイ御岳口へ毛布 50 枚搬送。

9 月 28 日

- 13 : 10 県災害医療対策本部から長野県支部救護班（安曇野赤十字病院）へ派遣依頼あり。
- 13 : 34 同班が県立木曽病院へ出発。
- 14 : 20 長野県支部こころのケアチーム（諏訪赤十字病院）が県立木曽病院へ向け出発。

（2）岐阜県支部9 月 27 日

- 15 : 00 支部職員が参集。
- 20 : 10 岐阜県支部救護班（高山赤十字病院（日赤DMAT））1 班が濁河温泉へ向け出発。
- 22 : 50 同救護班が到着。

9 月 28 日

- 04 : 30 岐阜県支部救護班（高山赤十字病院（日赤DMAT））の医師 1 名、看護師 1 名が山岳警備隊、下呂市職員とともに岐阜県側登山口より山小屋へ向かう。
- 06 : 15 同医師と看護師が「五の池小屋」へ到着し、登山客と合流後下山。
- 10 : 00 ドクターヘリにて搬送された重傷者 1 名 を高山赤十字病院が受け入れる。
- 12 : 10 ドクターヘリにて搬送された重症患者 2 名を高山赤十字病院が受け入れる。
- 12 : 30 同班の診療活動が終了し、現地を撤収する。

16：00 同班が高山赤十字病院に帰着。

(3) 第2ブロック内支部

9月27日

19：45 群馬県支部救護班（前橋赤十字病院（日赤DMAT））1班が信州大学医学部付属病院へ向けて出発。

9月28日

01：00 新潟県支部救護班（長岡赤十字病院（日赤DMAT））1班、埼玉県支部救護班（さいたま赤十字病院（日赤DMAT））1班が信州大学医学部付属病院へ出発。

04：00 山梨県支部救護班（山梨赤十字病院（日赤DMAT））1班が県立木曽病院へ出発。

5 救援物資搬送

	毛布	安眠セット
王滝村公民館	80 枚	15 セット
木曽町三岳交流促進センター	300 枚	20 セット
御嶽ロープウェー御岳口	50 枚	
計	430 枚	35 セット